

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成24年11月19日 午後7時00分から午後9時07分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 第1会議室
- 4 出席者 飯田秀範委員、上野正司委員、金子隆博委員、北沢賢二委員、清住洋子委員、  
児島八重子委員、塩之入安男委員、滝沢修司委員、滝澤由美子委員、竹内明美委員、  
竹内利通委員、中嶋三津子委員、成田英雄委員、樋澤みどり委員、森美由樹委員、  
柳沢裕子委員  
【欠席委員】4名
- 5 市側出席者 伊藤地域自治センター長、木藤地域振興課長、  
児玉産業観光課長兼建設課長、北沢健康福祉課長、掛川武石教育事務所長、  
滝沢武石上下水道課長、佐藤地域政策係長
- 6 公開・非公開等の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成24年11月26日 作成部局課名 地域振興課地域政策係

## 協議事項等

- 1 開 会 (柳沢副会長)
- 2 会長あいさつ (上野会長)
- お寒い中お疲れさまです。美ヶ原の山に初雪が降ると麓には寒さが急激にやってきます。寒さが厳しくなり忙しい時期にもなりますが、身体に気をつけて活躍していただきたい。雲溪荘の問題が一段落したが、新聞にも取り上げられ住民の関心も高かった。住民にも情報が伝わってきたと思う。今まで関心の無かったような人からも質問されるようになった。地域協議会についても関心が持たれるようになってきた。住民の皆さんの期待もあることから、気を引き締めて取り組んでいかなければならないと思う。皆さまのご協力をお願いしたい。
- 3 協議事項
- (1) 地域内分権について
- (会長) 前回専門部会についてお諮りした。全部で5つの議題が出た。事務局と協議し3つの専門部会と、皆で協議する全体検討事項として地域内分権とオフトーク通信という形にした。先ず地域内分権について説明したい。
- 【会長から資料説明】
- 【事務局から補足説明】
- 【質疑・意見等】
- ・なし
- (会長) オフトーク通信について、事務局と協議したところ、現状では再来年(平成27年2月末)を目途にサービス終了予定)までは機材が使えるため、もう少し先の検討課題としたい。
- 【質疑・意見等】
- ・なし
- (2) 「専門部会」の設置
- 【議題・担当について協議結果】
- 『武石地域全域公園化構想の今後の取組について』  
部会長：大沢春樹 副部会長：竹内利通 委員：塩之入安男・滝沢由美子・成田英雄 計5名
- 『活発な地域づくりについて』  
委員：新井敦子・柿嶋勲・小島八重子・滝沢修司・中嶋三津子・樋澤一幸・樋澤みどり・森美由樹 計8名 《正・副については次回決定》
- 『雲溪荘について』

部会長：北沢賢二 副部会長：清住洋子 委員：飯田秀範・金子隆博・竹内明美・柳沢裕子 計6名

(会長) では、部会に分かれそれぞれで今後の進め方等協議していただきたい。あわせて記録をそれぞれに取っていただき事務局で取りまとめ、次回の協議会時に全員にお配りする形式としたい。それぞれの専門部会で調査や研修等行う場合には事務局に直接言っていただきたい。

(委員) 長・副については決めてあるようだがそれぞれに検討しても良いか。

(会長) よい。議題の名称についても検討し直していただいても構わない。また、自分の部会以外の部会に対し、こんなことも検討していただきたい、というような意見はないか。

(委員) たとえば公園化構想の今後の課題についてで、武石公園、ゴミ等あるが、全部を一年で行わなければならないのか。

(会長) 全部でなくてよい。自分たちでまず何を検討するか、というところから始めていただきたい。

～「専門部会」午後7時40分～8時30分まで協議～

(会長) お疲れさまでした。それぞれの部会に少しずつ顔を出させていただいたが、それぞれ活発に行われていた。では5分以内にそれぞれの部会から発表をお願いしたい。

～部会長発表～

【武石地域全域公園化構想の今後の取組について】

(委員) まだ自治会をはじめ、地域に内容が周知徹底していない。PRが必要。自治会と連携を取る必要もある。当初、全体像ができてから行うべきという意見も出たが、それをしてはいつまでたっても踏み出せないということで、とにかく取り掛かろうということで始まった事業。それについても今日意見が出たが、やはりある程度の青写真があった方が良いのではないか、という意見があった。数年実施してみて、ある程度定着した感もあるが、やはり、周知が必要、ということになった。

【活発な地域づくりについて】

(委員) 正・副の選出については、全員揃ったところで次回決める。地域の人口減少が大きな課題である。独身男女の調査を進め、武石にお嫁さんに来てもらえるような地域づくりや、空き家の活用について、若い人がどうしたら定着してもらえるか、お年寄りにとって住みやすい地域づくり等意見が出た。

【雲溪荘について】

(委員) 存続で要望ということになったので、第2弾として、利用者を増やすアピール等考える。情熱をもって行う必要がある。夜9時までの営業や温かい食事といった細かいことではなく、もっと大きなことを検討しなければならないのではないかという意見が出た。宿泊施設なのか日帰りなのか、ということについて、日帰り施設は市の施設はいくつもあるので宿泊として考えたい。どうやって残していくか。地域のバックアップが必要。それにはアピールをしていく。バスは市で確保していただいたが市のものなので、もし民間になった場合には引き上げてしまう。一人一泊運動をしたらどうか。民間譲渡の場合、施設修繕等大きな費用がかかると思う。それらを考えると地域予算を使うことになるが、地域住民による署名で同意を得ることが一番良いのではないか、などという活発な意見が出た。

(会長) 今聞いた意見の中で質問等ありますか。

【質疑・意見等】

・なし

(会長) では、今日出たものを事務局でまとめていただき、次回はこれを基に続けていっていただく。

(会長) その他に意見などありますか。

(委員) 長野大学の先生が来て説明して実施したアンケートについての経過は。

(事務局) まだまとまっていない。アンケート調査自体は9月に実施済みである。学生たちの社会調査研究の授業の一環でもあるので、2月か3月頃まとまると思うのでそれからお知らせする。

#### 4 その他

(1) 次回会議の日程等について

・協議の結果、12月12日水曜日は午後2時開始で、地域内の視察と会議、夕方から忘年会を実施

する。

(2) その他

【事務局から】

- ・雲溪荘存続に関する要望書(案)について
- ・武石地域観光アンケートの実施(案)について

5 閉 会(柳沢副会長)